新中型形彫放電加工機“EA28V”

塩谷利弘*
浅井巌慶*
今城昭彦**

A New Middle-size CNC Sinker EDM“EA28V”

Toshihiro Enya, Yoshinori Asai, Akihiko Imagi

要　旨

近年の工作機械業界においては，年々より複雑で高度化・短納期化している金型製作に対応するため，切削加工機の性能向上とともに，形彫放電加工機に対してもより高速・高精度な加工性能が求められている。三菱電機は加工性能を大幅に向上させた新V電源を2004年に開発し，小物・微細加工領域をターゲットとした“EA12V”と“EA8PV”にそれぞれ搭載し発売を開始した。一方，自動車のホイール・エンジンブロックのダイカスト型や家電用金型等にみられるように年々大型化していく中物加工領域においても，市場の要求を満たすため加工性能の向上が望まれていた。そのためV電源を搭載した機種のさらなるシリーズ拡大として，中物加工を行うユーザーをターゲットとした“EA28V”を開発した。

主な特長は，次のとおりである。

(1) 新高性能V電源の搭載による加工性能の向上。さらに超硬等の難加工材加工にも対応

(2) より大きな電極・ワークにも対応可能な高剛性機械構造体

(3) 大面積や深リブの仕上げ加工性能を向上させる新適用制御(SSジャンプ３)の開発

(4) 同クラスでは業界最小の設置スペース・油量を実現。V電源による省エネルギー化の実現

(5) 操作性・保守性を向上。さらに機械デザインを一新し，従来にないスタイリッシュな外観デザインを実現

高速・高精度，新中型形彫放電加工機“EA28V”

高速・高精度加工を実現する新中型形彫放電加工機EA28Vを開発した。自動車部品のプラ型／ダイカスト型から鍛造型／押出型等様々な加工内容に対応し，従来と比較して加工性能を向上させるのと同時に，操作性・保守性も向上させた。機械本体のデザインの見直しと設置面積の低減によって，コンパクトで斬新な機械外観を実現した。(電極自動交換装置及び機械ヘッドの電極割り出し装置はオプション仕様)

*名古屋製作所　**先端技術総合研究所(工博)